1. <施策の概要>

	1702			
基本理念	各種産業を育む活力あふれるまちづくり	 	総務部	企画調整課
基本方針	学研都市	70亿1白1六		正四则歪床
施策名	学研都市の推進(企画)	関連課	事業部	産業振興課
方針・ 目標等	◆学研都市建設・運営の推進。◆学研都市の発展促進。	为 连床		
実施内容	◆要望活動。◆関係機関との計画調整。◆町域を越えた広域 るPR活動。◆文化芸術振興の取り組み。	的連携。	◆都市	ブランド向上に係

2. <指標の設定>

	2. \16保*/股化/										
	重点	指標名			単位		他団体比較 団体名/実績/年度			算式・引用等	
1		学研都市イベント参加者数			名					参加者数	
2		学研都市建設事業費累計額			億円						
3											
4											
⑤											
		H19(実績)	H20)(実績)	H21	(実績)	H22(実績)	H23	3(試算)	H24(試算)	
		目標	32, 000		32,000		32,000	35, 000		35, 000	35, 000
1		実績	36, 183		26, 164		36, 791	40, 699			
2		目標	_		_		-	923		939	954
(a)		実績	-		866		903	925			
3		目標									
0		実績							_		
4		目標									
4)		実績									
5-		目標									
		実績							_		

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・学研都市に相応しい文化芸術振興の推進とともに、学研都市のPRにつながった。今後もますます、NPO団体をはじめ、文化芸術振興による学研都市の活性化を図っていく必要がある。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・学研都市住民としての誇りを持てる文化・芸術の推進を、産学公民の連携をさらに強化し、学研都市ブランドとして定着させていく必要がある。

[・]都市経営については、人口急増を抑えた成長管理型の成果が現れている。

4-1. <施策を構成する事業>

	Г	部門		事業費(人件費含む)/事業費のみ/事業費一財 <単位:千円>							
	重点	/事業名				T.		Γ			
	从	/ 性別/ 伏昇青	説明頁	H19(実績)	H20(実績)			H23(予算)			
1 C		企画調整課 けいはんな学研都市文化振興 事業		-	-	4, 767	5, 666	5, 666	5, 666		
	\circ			1, 177	1, 177	1, 574	1, 160	1, 160	1, 160		
		一般事業	73	-	-	659	1, 145	1, 145	1, 160		
		企画調整課		-	-	10, 396	13, 438	14, 683	14, 683		
2 0	0	国際交流推進事業		4, 401	1, 758	1, 579	1, 497	2, 742	2, 742		
		一般事業	73	-	-	1, 579	1, 490	2, 692	2, 742		
3 🔾		企画調整課		-	-	14, 190	12, 543	12, 543	12, 543		
	\circ	せいか祭り開催負担	旦金	10,000	10,000	8,000	7,000	7,000	7,000		
		一般事業	75	-	-	0	0	0	0		
		企画調整課 学研都市建設推進・活性化事 業		-	-	18, 962	19, 265	19, 265	19, 265		
4	0			1,000	1,000	7, 500	7, 500	7, 500	7, 500		
		一般事業	77	-	-	7, 500	7, 500	7, 500	7, 500		
5											
6											
7											
8											
9											
10											
						I.					

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・けいはんなふれあいコンサート、交流ホールコンサートが定着してきている一方、継続実施に向けては、開催時期や内容の検討及び企業協賛金の確保が課題である。・せいかグローバルネットワークとの共催により、様々な国際交流事業を実施したが、各事業の参加者が伸び悩んでいる傾向にあり、より幅広い参加に向けた取り組みが課題である。・せいか祭りは、本町を代表するイベントとして、実施体制や会場の実情に見合った内容を検討しながら、継続開催していく。・学研都市三市町行政連絡会では、三市町が連携して要望活動、文化振興活動、PR活動を実施した一方、「サード・ステージ」を迎え、学研都市の構成市町間での建設推進課題が分化している傾向がある。

5. <施策の今後の方向性>

・引き続き、各種団体、民間活力とタイアップしながら、各種イベントの開催を通じて、開催学研都市にふさわしい文化・芸術の振興、学研都市の魅力を広くPRするとともに、都市の活性化に向けた取り組みを行

・各市町間における学研都市の建設推進の諸課題を整理し、効果的、効率的な活動を実施するなど、学研都市の広域的連携の一層の促進を図る。